

# 竜丘の誇りを後世に 新たな一歩を踏みだし 竜丘古墳の会発足



発行所 飯田市竜丘公民館  
編集人 竜丘公民館広報委員会  
印刷所 龍共印刷株式会社  
龍共印刷株式会社  
飯田市上郷黒田 ☎22-5353

人口	7,019人
男子	3,407人
女子	3,612人
世帯数	2,447戸
(25年6月末現在)	

竜丘の遺産を保存活用するため、古墳に関係する団体をまとめ、新たに「竜丘古墳の会」が設立されました。五月十九日の設立総会では役員と事業計画、予算が承認され、新たな一歩を踏み出しました。

この会は、歴史文化遺産としての古墳群を保存、継承するとともに、古墳を活用して地域の文化教育活動に資することを目的に、学習会や整備保存、イベント、広報宣伝、古墳公園化に向けた環境作り、国県の史跡指定に向けた活動などを行うため設立されました。竜丘公民館の特別委員会として位置づけられ、会長は竜丘公民館長、役員には地域の団体代表者や学識経験者が選任されました。今後は、具体的な活動として、定例学習会や、古墳まつりの支援、植栽除草活動、説明板等の設置、古墳マップ整備、PR活動など、部会毎に実施することになります。

総会に先立ち、四月二十九日に開催された古墳めぐり九日に開催された古墳めぐりの映像が上映され、参加者を代表して、緑ヶ丘中学校一年島岡涼弥さんの感想文を宮島聡子さんが朗読し、また桶弘美さんが参加した感想を述べました。その後行われた、小林正春さんの講演では、竜丘の古墳の現状と課題を学びました。



講演の中で「まず古墳や竜丘の歴史を知って欲しい。自分の中で積み上げた知識を、普段から子どもたちに少しずつ語ることで、子どもは興味を持ち納得する。それが、古墳や自分たちの地域について何気なく語れる子どもに育つことに繋がっていく」という言葉が印象的でした。

主な役員は次のとおり  
会長 下平 勝 熙  
副会長兼塚原二子塚古墳公園推進部会長 木下 和 彦  
副会長 林 正 己  
副会長兼啓発・情報発信部会長 下平 隆 司  
副会長兼調査・保護部会長 今村 文 一  
イベント推進部会長 イベント推進部会長 福岡 計 介  
会計 牧内 靖 幸  
顧問兼学習部会長 小林 正 春  
顧問 塩澤 義 男

去る四月二十九日に、竜丘地区内の前方後円墳をめぐると、竜丘古墳の会が発足しました。

足前に、地区民の意識を高めようと、発足準備会が主催しました。小学生の親子連れなど約五十人が参加し、小林正春さんと渋谷恵美子さんを講師に、二班に分かれ、春の里山を楽しみながら九つの古墳をまわりました。どの様に造ったのか次々と疑問が湧き、古代人の知恵に驚いた。説明も分かり易く、普遍的な話をして、聞き流しに聞こえ、良い機会になった」との感想が聞かれました。前方後円墳のみを見て回る企画ができるのも竜丘ならでは。幅広い世代が気軽に古墳について学ぶ機会になりました。

今年度の梅雨は空梅雨で天候は心配のない中、六月九日(日)に第六回竜丘古墳まつりが盛大に行われました。この行事は地元古墳群を大いに活用し、先人達の思いを後世に受け継ぐため、竜丘地区はもちろん、飯田市教育委員会など多くの方々に支えられて、実施されました。今年も、オープニングセレモニーでは、時又保育園の園児達のかわいらしい、又かつこい演奏で、おもわず、頼もしさを感ずりました。続いて鈴岡太鼓の勇壮な演目が、去年から子供達も増え、リズムカールであり、迫力ある音色が、バックの二子塚古墳と一体となり、大きく響き渡りました。

開会宣言後、古代衣裳をまとった副市長さん、館長さんの挨拶の後、続いて古墳についての説明を飯田市教育委員会の渋谷さんからうけました。パネル展示ブースでは当時の生活について写真やイラストでわかり



表 彰  
長年の公民館活動の功績に対し、社会教育功労者として、十名の方が公民館から表彰されました。大変お世話になりました。

河井 正則さん(時又) 分館主事 平成二十一年〜二十四年  
橋爪 辰彦さん(時又) 広報委員 平成三年〜十七年  
牧島 国博さん(長野原) 体育指導員 平成二十年〜二十四年  
鎌倉 広志さん(長野原) 体育委員 平成五年

原 隆昭さん(桐林) 文化委員 平成十九年〜二十三年  
中田 信和さん(桐林) 広報委員 平成五年〜二十四年  
牧内 利郎さん(上川路) 民俗資料保存委員 平成四年〜二十四年  
河井 篤子さん(時又) 民俗資料保存委員 平成九年〜二十四年  
原 廣志さん(桐林) 分館主事 平成十四年〜十五年  
民俗資料保存委員 平成二十三年〜二十四年

と、当時お米を炊く(蒸す)事も大変な作業だったと想像されます。早朝六時半に埴輪の野焼きの点火を小学六年生三名で行いました。この埴輪は小学六年生が五月に学校の授業で一時間半かけて作り上げたもので、野焼きする事で仕上げます。今年は八十余体のものが焼き上がりました。皆それぞれに個性な同筒埴輪で、少し黒くこけてしまったり、割れてしまったり、割れもありましたが、自分の製作したものや二子塚古墳をバックに写真撮影しました。南側花壇

昭和五年、「竜丘時報」として第一号を発行して始まった公民館報。名称を、その時代の竜丘を取り巻く状況にあわせ、「竜丘村」「飯田市」「館報たつおか」とかわり、編集方針・内容も時代に合わせ幾多の変更を加え、第二次大戦中のやむなき七十年間の休刊を挟み、八十二年間、今回で第三百十六号を迎える。

長い間には、存続の危機もあり、第百十一号発刊にあたっては、痛烈に行政批判をして市役所に呼び出され「行政批判をする新聞に金は出せん。」とお目玉をくらったが、最後に当時、部長であった、元市長松沢太郎氏に「行政批判もまた潔し」と助けて頂いた経緯もあり今号まで無事に続いていた。

この「ヤブ蚊」も昭和三十四年に、「環境衛生の普及によってわれわれやぶ蚊も撲滅され、遂に生まれ変わってここに姿を現しました。どうぞかわいがってください。」と云うくだりで始まった。一番長く続いている特集記事である。

# 役員もハラハラ まれにみる大接戦



去る五月二十六日(日)に、体育委員会年間行事である夏季スポーツ大会ベタンクマスターズを竜丘小学校グラウンドにおいて開催しました。当日は好天に恵まれ汗ばむ暑さの中、熱戦が繰り広げられました。

昨年度の反省から今年度は競技種目一つに絞って、ペタンクを実施しました。体験競技として、運動会で実施されている、大縄飛び、マレットボリング、すてきなカップルを準備し、休

憩時間などを利用して体験していただきました。ペタンクは、各分館十チームで総勢約百五十名の参加となりました。初めての方もいて最初はとまどっていました。何ゲームかやっていると慣れて、楽しんでやっております。

競技結果ですが各チームの熱戦により、まれにみる勝ち数も引き分け数も四分館同数で一位が時又、長野原、上川路、駄科となり、本来であれば得点差で最終順位を決定する訳でしたが、時間的に間に合わず、閉会式では四分館が一位

という事で終わりました。優勝チームに表彰状を渡せず申し訳ございませんでした。後日得点を集計した結果、以下が最終順位となりました。

## 水辺の楽校整備活動

去る五月十九日(土)に今年最初の水辺の楽校整備活動が行われました。

最初にPTA会長の松下さんから結いの日の説明がありました。親子で会話や読書など、ふれあいを意識し、今日の水辺の楽校の整備などを通じ、普段なかなか感じる事の少ない自然のありがたみなど今一度皆様で感じる機会にして頂きたいと、挨拶がありました。

今年例年比、雨が少なく、雑草の生育も遅く感じられますが、水辺の楽校の水路石垣付近は水分もあるせいか腰高以上の雑草がみられました。今回は小学校PTAの方々一、二、六年年の父母の皆様に参加して頂きました。又六年の児童も参加し草刈り、整備をする中で、地元の自然を大いに感じて頂けたと思います。



公民館長野原分館は「知りたい伝えたい長野原の歴史と文化」を発刊しました。昭和五十一年に「館報ながのほら」第一号が発刊され、昨年十二月に第百号を迎えた節目に、長野原分館の協働で編集されたもので、館報縮刷版のほか、写真や古文書などで長野原の歴史を振り返ることができる内容となっております。

「長野原は、現在世帯数が四百を超え、なお増加傾向にある区となり、区民センターの新築など、更なる発展が期待されています。そのような中で、過去には水利の確保に苦勞しながらもこの地を拓いてくれた先人達の思いや、お日待ちなどの伝統行事、そして様々な公民館活動をこの冊子で振り返り、歴史を知ることができ、皆さんが地域に愛着を持ち、将来を考えていただく機会となり、新たな地域づくりに寄与できれば」と希望者に千二百円で販売

- 優勝 時又  
二位 長野原  
三位 上川路  
四位 駄科  
五位 桐林
- 以上となりました。参加された方々にはありがとうございました。ごさいました。
- (体育委員長 松下信秋)

## 長野原の歴史がこの一冊に 縮刷版発刊

公民館長野原分館は「知りたい伝えたい長野原の歴史と文化」を発刊しました。昭和五十一年に「館報ながのほら」第一号が発刊され、昨年十二月に第百号を迎えた節目に、長野原分館の協働で編集されたもので、館報縮刷版のほか、写真や古文書などで長野原の歴史を振り返ることができる内容となっております。

「長野原は、現在世帯数が四百を超え、なお増加傾向にある区となり、区民センターの新築など、更なる発展が期待されています。そのような中で、過去には水利の確保に苦勞しながらもこの地を拓いてくれた先人達の思いや、お日待ちなどの伝統行事、そして様々な公民館活動をこの冊子で振り返り、歴史を知ることができ、皆さんが地域に愛着を持ち、将来を考えていただく機会となり、新たな地域づくりに寄与できれば」と希望者に千二百円で販売

## 竜丘地区公演プログラム

会場名	公演日	開演	劇団	時間
竜丘公民館大ホール	8月8日	10:30	もももげきだん(篠ノ井西小学校)	70
		13:30	人形劇団ひとみ座 ばべっと・とらら	65
時又ふれあいセンター	8月8日	18:30	げきだんはてな	60
竜丘公民館	8月9日	10:00	影絵劇団夢屋	45
		11:00	ゆうすけ座	25
		11:00	パペットてなもんや	40
		13:30	飯田女子高等学校人形劇クラブ	45
		14:30	まの秘密結社	15
		14:30	ゆう	30
		15:15	人形劇団ころりん	20
15:50	人形劇プチぶどう	20		
長野原区民センター	8月10日	10:00	人形劇団どむならん	75
竜丘公民館(桐林分館)	8月10日	13:00	えぶろん座 ティーチアン一座	65
		10:00	パネルジャム グレゴの音楽一座	60
上川路公民館	8月11日	13:30	人形芝居燕屋	55

中ですが、残り部数が後わずかとのことです。

## 丘の語部たち 五集刊行

今年三月十五日に、丘の語部たち一巻が、民俗資料保存委員会が編集し竜丘公民館から刊行されました。

五集目を迎える今回は、今までの「語り」のスタイルを基本にしつつ、趣味サークルの発足の経緯や現状もおさめられています。

世代を超え伝えたい思いが凝縮された一冊になりました。

一冊 一、八〇〇円  
お求めは公民館まで。

訂正 発刊の丘の語部たち第五集は、好評にてご愛読いただきお礼申し上げます。

なお、表記誤りが次のとおりありました。大変ご迷惑をお掛けし恐縮に存じます。訂正しお詫び申し上げます。

増田 信義  
増田 義信  
竜丘公民館  
丘の語部たち刊行委員会

## 春のごみゼロ運動



去る五月二十六日に春のごみゼロ運動を行いました。多数の方に参加いただきありがとうございました。

竜丘全体の参加人数は、大人一、三六八人、子供七十一人、合計一、二〇七人、集められた空き缶約六百個、空き瓶七十七本、ペットボトル約二百本、埋立ごみ五十二袋、可燃ごみ十六袋、金属資源二十三袋でした。

新委員になって初めてのごみゼロ運動でしたので、こんなものが道端に落ちるの?というものもありました。また人気がない場所では、テレビ、ソファとい

った大型ごみもあり、それについては飯田市の担当課に連絡いたしました。

かつてのニューヨークの地下鉄ではありませんが、落書きやごみを放置しておくとはまずまずひどくなっています。

目に付いたものはなるべく片付け、きれいな竜丘を目指しましょう。

秋にも予定しております。大勢の方のご参加を願っています。

(環境委員会 中島 彰)



「ご存知でしたか?最近の特殊詐欺が、多様化、狡猾化、高額化傾向にある為、警視庁は今一度注意を喚起しようと、過日新たな詐欺名称を公募し、「振り込め」を併用しつつ「母さん助けて」「親心利用」「二七電話」の三点を選び公表しました。踏まえて今年度、当委員会学習会は、去る六月十七日、竜丘公民館大ホールで、約六十名の参加者の下、飯田警察署防犯指導係長、筒さんを講師にお話をお聞きしました。それによると、旧来詐欺に手を加えた被害件数、総額は全国で約三千件、百三十三億円にのぼり、その定義、特質、手法

## 変質する詐欺実態と 予防策

### 安全委員会学習会

レターパックなどを指定して来る様です。予防策としては、特効薬はないものの、存在しない事をまず電話で接触して来る事から、(1)キツパリ断る。(2)巧い話。儲け話は疑う。(3)一人で判断せず相談する。(4)突然の身内を装う加害話

ない順法な備け話など、断じて存在しない事を肝に銘じておいて」と力説されたのがとても印象的でした。一度はご家庭内の



詐欺被害の手口を熱心に聞く参加者